

さる10月20日(日)柏市内のららぽーと柏の葉店にて、コンサルタント委員会市民交流研究小委員会主催により「土木ふれあいフェスタ in 柏〜くらしと安全を支える土木〜」が開催された。秋田市、広島市、札幌市、愛媛県松前町、そして昨年の名古屋市に続き、6回目の開催である。

今回は、昨年に引き続き、土木学会100周年記念事業の一環として位置づけ、柏市の後援とトンネル工学委員会、地盤工学委員会斜面工学研究小委員会の協力を得て、パネル展示(関東地区の選奨土木遺産、柏市ハザードマップ、土木のことば)、体験広場(液状化実験、トンネル実験、橋模型実験、斜面実験、歩測)、土木関連図書の紹介、展示を見ながら答えるクイズラリーなどを行った。

会場は、つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅直近の複合型商業施設内の広場であり、スペースが限定された中での開催であったが、参加者は興味津々で、何度も実験を見学する様子が見られた。

特に、本イベントで例年実施している体験広場の液状化現象実験(砂と水の入った箱を振動させて液状化現象を再現)や橋の実験(アーチやトラスの強度を確認する載荷実験)、自分の歩幅で距離を測る歩測など、多くの子供たちの人気を集めていた。特に、トンネル工学委員会によるトンネル実験(ペットボトル内に砂を入れ円形、四角形、三角形の紙筒のトンネルを再現)は、大人も驚いていたようである。さらに今年は地盤工学委員会斜面工学研究小委員会により様々な斜面に関する実験が披露され、多様な土木工学を体験していただくことができた。

来場者数は、600名弱、大多数は通りがかりの方で30代のご両親と未就学児・小学生という組み合わせが多かったようである。回収されたアンケート564通には、「子供が構造に興味を持ちました」、「実生活に役立ちそう」、「土木は街づくりの基盤ですね」などの好意的意見が多く見られた。

このようなイベントを通じて一般の方々に土木とは何かを知って頂くと同時に、スタッフ側が土木に対する大きな期待や励ましをよせていただく一面もあり、まさしく市民との交流が図れたことを実感できた。

土木学会活動における市民交流とは、研究成果や土木技術、関連情報などを市民の立場・視線で、わかりやすく発信することがその第一歩であると考えている。土木学会が100周年を迎える2014年度には、記念事業として全国各地で開催され、支部行事として定着することを期待している。ぜひ、各支部の協力をお願いしたい。



図1 イベント案内チラシ



写真1 イベント会場全景



写真2 展示・クイズラリーの様子